拝島中学校だより

令和７年４月１４日
第１号
昭島市立拝島中学校

【新年度にあたって】

校長　乙幡　英剛

多くの生徒の皆さんの表情が元気そうで、安心しています。春季休業中の学校は、校舎内に生徒がいないので、特に寂しく感じるのかも知れません。

さて、今日は皆さんに、この１年間の過ごし方のヒントとして、次の言葉を紹介します。

> 「０点とったのはざんねんなことだが、すぎたことばかりくよくよしたってしかたがないだろう。目が前向きについているのはなぜだと思う？ 前へ前へと進むためだ！」（「ドラえもん」『ジーンと感動する話』）

これは、テストの結果を見て、しょんぼりしているのび太君に担任の先生がかけた言葉です。「過去の結果にとらわれすぎることなく、未来に向けて前向きに努力することの大切さ」を説いています。のび太君は、この言葉にとても感動して「皆に伝えて回る」ところから、例によって物語が広がっていくのですが、ここで考えなくてはならないことは、二つあると思います。

第一に「人と関わろう」ということです。いくら精神的に立ち直っても、何の工夫も、改善もなく、やみくもに「前へ前へ」と進んでも、また同じことを繰り返す結果になってしまうかも知れません。目は「前向き」にしかついていないため、自分の「内面」や「行動」を見つめることは難しいからです。そこで、自分の取るべき手段や進むべき方向について「こういう方法もあるよ。」「こっちの方向では、どうかな」と別の視点から見てくれる人がいると、進むスピードがグッと速まったり、確実さが増したりすることでしょう。

第二に「実践（行動）しよう」ということです。いくら方法や方向が決まっても、テスト準備の計画は誰も立ててはくれませんし、教科書を開くだけでは、答えは自然に出て来ません。自分から「進む（行動）」ことをしなければ、状況は、何も変わりません。何も変わらなければ、また同じことを繰り返す結果になってしまうかもしれません。**【よろしくお願いします！(4/7)】**

このように、自分から「人と関わる」、自分で「実践」してみる、ということは、「主体的・対話的で深い学び」の第一歩であると言えます。大切なことは、みんなで、着実に「前へ前へと進む」ことです。世の中には、知らないことがたくさんあります。一生懸命勉強して、自分の世界を広げましょう。それがやがて、大きな成果になっていくのでは、ないでしょうか。

さて、明日は、入学式です。新入生は、きっと皆さんのことを注目し、お手本にしようとするはずです。心の準備はできていますか。いよいよ新学期が始まります。どうぞよろしくお願いいたします。（「始業式」４／７より）

【入学式の準備、お疲れさまでした（4/7)】

【自分の場所は、どこかな（4/8)】

【新入生歓迎会・部活動説明会（4/11)】

【温かい会でした】

【交通事故の防止について】

自転車による交通事故は、命に関わる重大な事故に至るケースがあり、加害者になる恐れもあります。以下のルールを確認してみてください。

○車道が原則、左側を通行
　歩道は例外、歩行者を優先

○交差点では信号と一時停止を守って、安全確認

○夜間はライトを点灯

○ヘルメットを着用

○雨天時に傘を差しての運転、「ながらスマホ（自転車運転中にスマートフォン等の画面を見る、通話等の操作をする、ヘッドホン・イヤホン等の使用をすること）」は絶対にやめましょう。

【４月の予定】

１６日（水）中教研総会⑤カット（給食有）
１７日（木）学力・学習状況調査（国・数・理）（３年）
　　内科検診（１，２年）
１８日（金）内科検診（３年）
　　学校評議員会
１９日（土）学校公開
　　保護者会（全学年）
　　PTA総会
２１日（月）振替休業日
２４日（月）時間割Ｉ始
　　心電図（１年）
２５日（金）セーフティ教室

【５月の予定】

９日（金）中間考査（給食無）
１２日（月）朝礼
１４日（水）部活動保護者会
　　耳鼻科検診